

発寒ひかり
保育園だより

2024年
2月号

巻頭言

くりファミリーのNくん（ことり組・1歳児）は、現在独立宣言期（イヤイヤ期）の真っ最中です。ある日のお昼寝明け、Nくんはトイレに行くのを嫌がって泣いていました。担任である私が、彼の気持ちが落ち着くのを待っていると、同じファミリーのMちゃん（ばんび組・4歳児）が「どうしたの?」と心配顔に。Nくんの様子を伝えると、「私がいく!」と張り切ってNくんの所へ行き、「一緒にいく?」と優しく声をかけていました。するとNくんは泣き止み、二人で手を繋いでトイレに向かったのです。Mちゃんに手を引かれてお部屋に戻ったNくんは、嬉しそうにおやつ準備を始めました。そしてMちゃんは「私が声をかけたらトイレに行ったよ!」と得意顔で教えてくれました。

実は最近、ホールで一緒にお昼寝をするようになったことで、MちゃんはよりNくんを気にかけて、沢山可愛がられたNくんは、Mちゃんが大好きな存在になりました。二人の間には信頼関係が育まれ、いつも気持ちに寄り添ってくれるMちゃんの前だからこそ、Nくんは素直になれたのだと思います。

Nくんのお世話をし頼られることが、彼女にとって大きな自信となりました。そして、今まで以上に表情が豊かになり、自分の身の回りのことにも、すすんで取り組むようになっていきます。異年齢の関わりで得た経験が、こんなにも人を成長させるということをMちゃんから学びました。これからも異年齢の関わりだけでなく、そこからさらに成長していく子どもたちの姿を見守っていけるよう励んでいきたいと思っています。

くりファミリー りす組担任 高橋 郁美